

※住田代表理事の「カンボジア回顧録」はお休みさせていただきます。

■ランサイ中の生徒は学校を綺麗にするために、自主的に仕事をしています！！

(全体会での生徒代表の話から)先生が僕たちによく分かるように教えてくれるので、塾に行かなくても勉強が分かるようになりました。今は授業に集中しています。そして僕たち生徒で出来ることを進めています。

今は遅刻をしないようにクラスで話しています。挨拶をするようにします。生徒会でも、校舎を綺麗にすることを決め、実行しています。

■中学3年の生徒は、もう1人前の職人！！

黒板の取り外し、磁石が付く白板の取り付けは、全て男子生徒の手であつと言う間に終わった。

7月4日、発表会で使うたかさんの資料を、セロテープで黒板に貼りながら授業の準備を進めるのを見ていた小林監事が「資料を貼るのに便利な磁石が付く白板を買ってやりたい」と提案しました。

直ぐにプノンペン事務所に電話して手配しました。10枚揃えるのに何店も回ったそうですがどうにか用意ができました。乗り合いタクシーに時間指定で送ってもらいました。

7月5日、朝10時に白板がランサイ中学校に届きました。(白板は来たけど、取り付け業者は居るのかな？と私は心配しました。)

11時になって「先生、生徒が白板を取り付けている！見に行こう！」と小林監事。

「驚きました！！」男子生徒数人で白板を取り付けているのです。(私の心配は杞憂でした)

古い黒板を取りはずす生徒、ドリルでコンクリートに穴をあける生徒、鉛の栓を入れて、白板を支えるビスを打つ生徒、白板を取り付ける生徒、取り外した黒板を運び出す生徒、手慣れた作業で1時間のうちに10教室の取り付けが終わりました。

「びっくりした！すごい！たいしたものだ。」と感心しました。業者を呼んだら、取り付け作業に1日かかると思っていた私は、チームワークの良い、男子生徒の手慣れた作業に驚きました。

この生徒たちなら、今すぐにでも職人として働けると、感心するばかりでした。



古い黒板を取りはずす生徒



ドリルでコンクリートに穴をあける生徒



取り外した黒板を運び出す生徒

◇ご支援をお願いいたします。

教育環境を整え、貧しい子に教育の機会を提供し、先生に指導力の向上のお手伝いをしています。SSFCの活動へのご支援をお願いいたします。寄附金のお振込みは、下記からお願いいたします。

■三菱UFJ銀行 神保町支店
口座番号(普) 0968555
■ゆうちょ銀行 00110-2-767497
口座名:公益社団法人 SSFカンボジア

詳しい解説・近況報告はSSFCホームページに掲載 ホームページ: <http://www.ssf.or.jp/> しております。ぜひご覧ください。右のQRコードからもアクセスできます。お問い合わせは、TEL: 03-6272-5717 FAX: 03-3511-5019 E-mail: info@ssf.or.jp



※活動内容の報告(バックナンバー)はホームページ「によにゅむ通信」にも掲載されますので、ぜひご覧ください。



ញឹម によにゅむは、カンボジア語で「笑顔」という意味です。

によにゅむ通信

2018年9月号 No.9

公益社団法人
Sumita Scholarship Foundation, Cambodia
(SSFC) 代表理事 住田平吉
〒101-0051
東京都千代田区神田神保町2-44
第二石坂ビル502
TEL: 03-6272-5717 FAX: 03-3511-5019
E-mail: info@ssf.or.jp
ホームページ: <http://www.ssf.or.jp/>

◆内閣府から、SSFCへの寄附に対する寄附金の税額控除が認められました。

公益社団法人SSFCが内閣府に申請していた「税額控除」の申請が、9月28日付けで認められ、安倍晋三内閣総理大臣からの証明書をいただきました。寄附をしていただいている方々に、税金面で少しでもお返しができるようになり、嬉しく思っています。

個人の方からのSSFCへのご寄附は、「税額控除」か「所得控除」のいずれか有利な方を選択して、寄附金の控除を受けることができます。年間の寄附金額や所得税率によって異なりますが、税率が40%未満の方は「税額控除」を選択するほうが、所得税が少なくなります。

どちらの控除を適用する場合も、確定申告の手続きが必要です。SSFCが発行する「領収書(右図下)」を添付して税務署に申告してください。

また、税額控除を適用される方は「税額控除に係る証明書コピー(右図上)」もあわせて添付してください。

なお、個人住民税については、都道府県・市区町村がそれぞれ条例で指定した寄附金が、個人住民税の軽減措置(寄附金控除)の対象となります(全国一律ではありませんので、ご確認ください)。

参考

□税額控除額の算出式は、

(年間の寄附金額-2000円) × 40% = 税額控除額です。

年間に5万円を寄附した場合

(50000-2000円) × 40% = 19200円 が所得税額から差し引かれます。

※控除対象税額は、所得税額の25%を限度とする。

□所得控除は、高額所得者(所得税率が40%超)の方が、寄附したときは「所得控除」を選んだほうが控除額が大きくなる場合があります。

※寄附金の合計額が、総所得金額の40%を超える場合は、総所得金額の40%を限度とする。



税額控除の証明書



寄附金控除のための領収書

ご寄附をいただいた方の寄付金控除のためには、「確定申告」をしていただく必要があります。

申告時に以下の書類を提出することにより所得税額が少なくなります。

- (1) SSFCの領収書
- (2) 内閣府の「税額控除に係る証明書」のコピー

控除の方法に「税額控除」と「所得控除」の2つの方法があります。詳しくは最寄りの税務署か、SSFC事務局にお問い合わせください。

ホームページ: <http://www.ssf.or.jp/>

「アライン・ランサイ中学校の授業発表会」を、スレイビボケイ中学校(2018年度SSFC研究協力校)の6人の先生が参観しました。その感想を聞きました。

■スレイビボケイ中学校:ホーン・ブーンコーン校長(42才・男)

先生の教え方(特に数学)が とてもよい。先生が自分で作った立体模型は、生徒の理解にとっても役立った。先生が説明して生徒に考えさせた。

先生の能力は高いと思った。スレイビボケイ中学校の先生の能力を高めて欲しい。

■ライ・ソマリー先生(21才・女・数学)

数学の授業を見た。先生がよく勉強していて、授業を工夫しているのが素晴らしいと思った。スイカを出した時は何をするのか分からなかったが、生徒の関心を引き付けた。果物で分数の大きさを教えたのも、生徒がよく理解できた。先生自身が自信をもって教えている。生徒も授業に集中していた。

私も授業が上手になりたい。ランサイ中学は教材がそろっているし、ロッカーもあってうらやましい。1つ分からないことは、生徒はノートに書く時間が無かったが、これでよいのかと思った。

■チャット・サルート先生(30才・女・歴史)

今まで私は教科書の読み上げ中心の授業しかしてこなかったもので、生徒に考えさせる授業が出来なかった。昨日は新しい歴史の授業の仕方を教えてもらって感激した。ランサイ中学には、パソコンや プロジェクターがあって、授業に使うことが出来てすごいと思った。映像を見たら、生徒も興味をもって全員が参加する授業が出来ると思った。

■サオ・キムリー先生(28才・女、理科)

先生の声が大きくはっきり説明するので、生徒も授業に集中している。先生が授業の準備をよくしてあるので、生徒にも分かりやすく教えている。生徒のあいさつがよいのに感心した。

■リー・ティナツ先生(27才・女・生物)

ペットボトルを肺に見たてて作った実験道具は、発想が良く素晴らしいと思った。私には考えられないので、どうしたらそういう発想が出るのか聞きたかった。ソッパニー先生は明るくニコニコして、大きな声で生徒と向き合って教えているので、生徒が授業に集中している。私も見習いたい。

指導案は、教える内容が多くて1時間では終らないのではないかと考えた。せつかく工夫して作った実験道具も有効に使えていないのが残念だった。

■テック・サーヴン先生(30才・女・国語)

4人の国語の先生の授業を全部見た。どの先生も授業の内容をよく勉強していて、工夫していた。教え方もよいので、生徒は全員授業に集中して、授業を盛り上げていた。「師範学校で教えられてないこと」をやっていた。

素晴らしいと思った。ランサイ中学の授業のやり方で教科書の教えることが全部終るか?疑問に思っている。グループ学習の時、先生がグループに入って教えることも必要だと思った。



(左)ホーン・ブーンコーン校長
(右)セング・サヴォーン副校長



(左)チャット・サルート先生
(右)ライ・ソマリー先生



(左)リー・ティナツ先生
(右)サオ・キムリー先生



(左)ソ・クンリンダ先生
(右)テック・サーヴン先生

※先生たちの写真は7月2日撮影、セング・サヴォーン副校長とソ・クンリンダ先生は今回は参加できませんでした。

※活動内容の報告(バックナンバー)はホームページ「よにゆむ通信」にも掲載されますので、ぜひご覧ください。

7月6日(金)のアライン・ランサイ中学校 「よくわかる授業の成果発表会」の前にいろいろな準備が行われていました。(7月2日の事前訪問で)

■ランサイ中学校の先生たちが日本語の勉強を始めました!!!

7月2日朝、学校に着くと先生や生徒から「こ・ん・に・ち・は!」と挨拶されました。

驚く私たちに副校長が「6月にSSFCが来た時に、通訳に教えてもらいました」と、1枚の紙を見せてくれました。

紙にはクメール語と日本語で「こんにちは」「おげんきですか」などと書かれていました。この紙を授業が始まる前に生徒に見せて、皆で覚えています、と教えてくれました。先生は勿論生徒も、私たちに会うと「お・は・よ・う・ご・ざ・い・まーす!」挨拶してくれます。嬉しいですね。

■生徒会男子委員が、手の空いている時にペンキ塗り!!!

朝8時、私たちが学校に着いた時に、2人の生徒が花壇の柵のペンキ塗りをしているのです。先生の指導もなく手慣れた様子で、黙々と丁寧にペンキ塗りをしていました。他の生徒も特別に注目することもなく通り過ぎていきました。

副校長先生に聞くと「生徒会で校舎をきれいにする話し合いが行われ、立候補した生徒が授業の合間にペンキを塗っています。ペンキや刷毛等必要な物は学校で用意しています」と話してくれました。

授業が始まるとその生徒は教室に行き、授業の無い生徒が代わってペンキ塗りを始めました。ペンキが剥けていた廊下の柵はみるみるうちに綺麗になりました。

誰に褒められるわけでも注目されるわけでもなく、当然の自分の仕事のようにして黙々とペンキを塗る生徒に感心しました。このように生徒を育てている校長や先生に敬意を表します。

■教室前にしく敷石の下地造りは生徒の仕事!!!

7月2日にランサイ中学に指導に行った時、校門に大きな砂の山がありました。「雨でぬかった校庭に撒く砂かな?」と聞いていました。朝の始業前や休み時間にスコップやバケツを手に生徒が集まり、砂をスコップでバケツに入れる生徒、砂を運んでぬかるみを埋める生徒、男女一緒に楽しそうに話しながらやっていました。授業が始まると教室に行き、休み時間になると別の生徒たちが始めました。

2日目、また新しく砂の山が積まれましたが、生徒によって校庭に撒かれました。3日目には六角形のコンクリートの板が大量に運ばれて、何人もの職人が砂を均しながら六角形の板を平らに並べ始めました。4日目も工事は続きました。

5日の夕刻、校庭はコンクリート板できれいに舗装されました。6日の授業発表会に向けての舗装工事だったのです。

校庭の砂入れは、単純な仕事ですが多くの労働力を必要とします。「生徒で出来る仕事はやる。」生徒がやっていた校庭の砂入れはまさにこのことでした。

